

将来教員を目指す大学生を指導者として中学に派遣する、試験的な取り組みが北九州市で始まりました

現在、教員の負担軽減などのため、国は今年度から部活動を学校から切り離し地域のスポーツクラブなどに委ねる『地域移行』を段階的に進めようとしています。その試験的な取り組みが北九州ではじまり、将来教員を目指している本学学生が「学生コーチ」として派遣され、FBS福岡放送で放映されましたので、紹介します。

なお、12月までに4校4つの部活動で『学生コーチ』が就任します。大学側は地域貢献のほか、教員を目指す学生の学びや成長につながるメリットがあります。九州共立大学は今後、コーチとして従事した学生や学校の教員、保護者や生徒からの意見を取りまとめ、コーチとして身につけるべき資質や能力等や、受け皿となる学校からのバックアップ等についての検討を行う予定です。

動画はこちら → <https://youtu.be/IVpOFoF32uM>